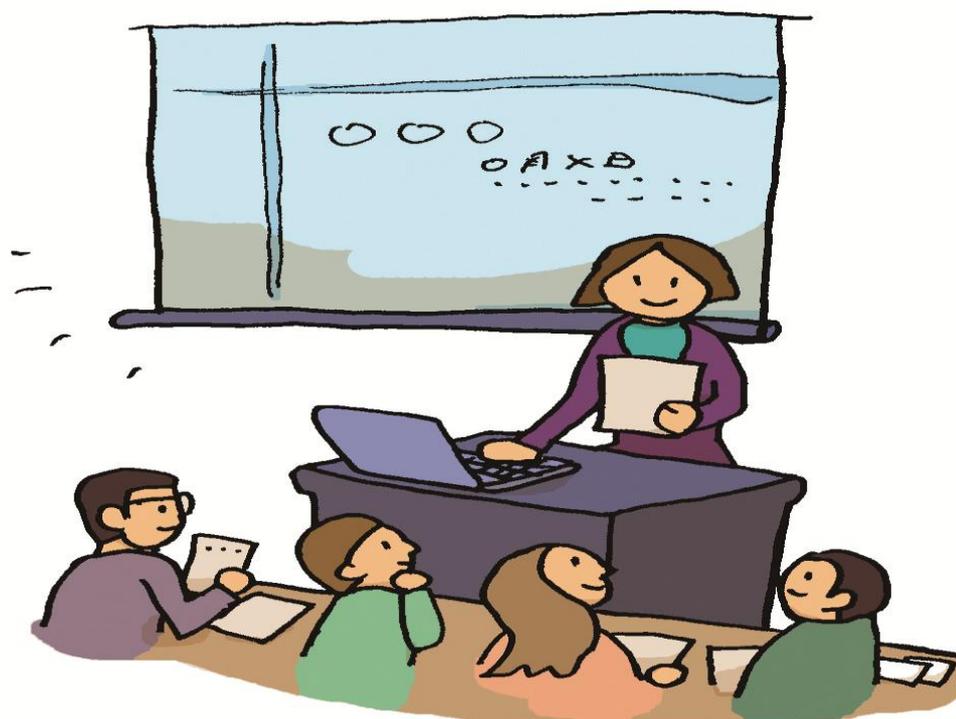


2 プレゼンテーションスキル研修

—資料及び研修成果—

※プレゼンテーションスキル研修では、「プレゼンテーション資料（スライド）の作成」とともに、この資料を使って「いかにわかりやすく、興味がふくらむ発表・説明ができるか」をテーマに研修を進めてきました。

本項の紙面では、印刷用のスライドを掲載していますが、DVDにはプレゼンテーション用の研修成果（19ファイル）を収録しています。



対象: 初任者

「聞きやすい！」提示のポイント



こんな子いませんか？



「聞いていない」??

- ・「聞いていない」ではなく、「聞けない」「聞きにくい」「わかりにくい」のかもしれません。
- 《まずは、理由・原因を探りましょう》
- 聴覚の機能的な問題(聞こえない、聞こえにくい)。
- 聞いていても、内容の理解が難しい。
- 注意(注目)し続けられない。
- どの声(音)を聞けば良いのかわからない。
- ⇒「聞きやすくなる」工夫が必要。

聞き取れますか？



ポ 予告する。
「2つのことを言います」「違うことを2つ言います」など、あらかじめ伝えてから話す。

※ **ポ** は大切なポイントを表します。

どれを聞けばいいの？
声がたくさんでわからない・・・



ポ 注目してほしい声だけにする。
授業中、サブの先生はできるだけ言葉かけを減らす。ジェスチャー、視線をさえぎる、指差しなどで、注目すべきところ・声に意識を向ける。

どっちが集中(注目)しやすい？



ポ 環境を整える。

視覚的に情報が多いと、どこに注目すればよいのかがわかりにくい。話を聞こうとしても、集中しにくい。

児童の視野に入るものは、その時に必要な情報のみにする。

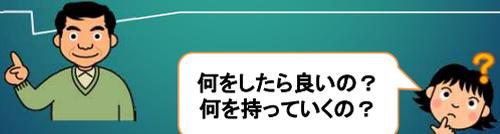


こんな言い方で、わかりますか？

- 例えば、ランニングの授業の前に…

「今から、トイレに行って、帽子をかぶって、水筒と体育館シューズを持って、みんなで並んで体育館に行くので用意ができたらドアの前で待っててください」

何をしたら良いの？
何を持っていくの？



ポ 簡潔に伝える。

「1番、トイレに行きましょう。」「帽子、水筒、体育館シューズを持ちます。」「ドアの前で待ちます。」

ポ 視覚的な支援の活用。

絵や写真、文字で、指示を視覚化する。

一つ先のことでしか見通すことが難しい児童にとっても、見ればわかるので有効！

- 1、トイレに行く
- 2、ぼうしをもつ
- 3、すいとうをもつ
- 4、たいいくかんのくつをもつ

↓
ドアのまえでまつ



さらに、大切なことが…

人も環境の一部！
子どもたちにとって、私たちも刺激になります。
そこで…
こんなこと、意識していますか？

テンポ
抑揚
声のトーン
表情
身体表現



まとめ

ポ 「聞きやすい」提示のポイント

- ☆事前予告をする。
- ☆チームティーチング時のサブの支援の仕方を工夫する。
- ☆環境を整える。視覚的な支援の活用。
- ☆簡潔に伝える。
- ☆話し方、声の出し方、表情や身体表現の工夫。

わかった！が増えると嬉しい♪



対象:通常学級担任

安心できる授業をめざして —授業の構造化—

こんな子いませんか？

何をしたらいいの？
黒板写すの？
赤鉛筆がないや。
えっ？！何て言ったの？
どこを見たらいいの？
いつ終わるの？

P-01

子どもたちが どこでこまっているのか

- ①授業に取り組む準備ができていない
- ②流れが分からない
- ③どこに注目したらいいか分からない

P-01

①授業に取り組む準備

P-01

お助けBOX

- ・削った鉛筆
- ・赤鉛筆
- ・消しゴム
- ・さし、のり、はさみ など

忘れ物をしたときに、先生に「貸してください」と伝えて借りることができる。

P-01

カタカタ止め

机がガタガタする時には、紙を机の脚の下にかませて、ゆれないように自分で調節する。

P-01

お助けノート

ノートを忘れたときは、自分のノートに合ったプリントを借りる。

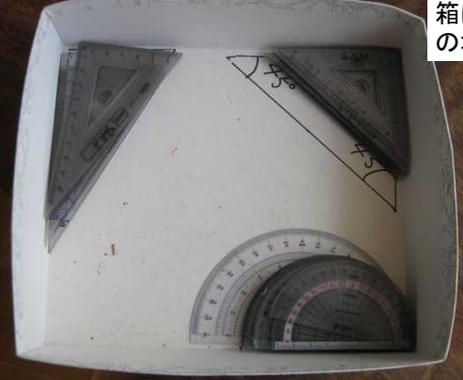


ノート・プリント

P-01

お助け定規

三角定規や分度器は、借りた後、箱に描かれた図の場所に返す。



P-01

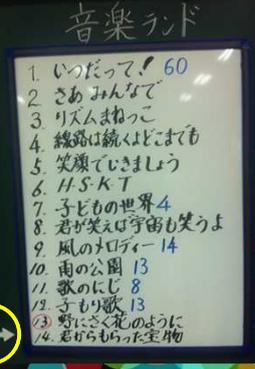
②流れが分かる授業

P-01

音楽の授業

1時間のスケジュール

- 教科書のページ数を書く
- 学習しているところを矢印で示す。



音楽ランド

1. いっだって! 60
2. さめ みんなで
3. リズムまねっこ
4. 線路は続くよどこまでも
5. 笑顔でいきましょう
6. H-S-K-T
7. 子どもの世界 4
8. 君が笑えば宇宙も笑うよ
9. 風のハロディー 14
10. 雨の公園 13
11. 歌のじい 8
12. 子もり歌 13
13. 野にさく花のよう
14. 君がらもらった宝物

P-01

音楽

- スケジュールの提示
- 活動と活動の間を開けない。(リズムうち・CDお手伝い)
- 授業のルール of 定着。(指揮者への注目)

十分な活動

「できた」「分かった」

P-01

算数の授業の流れ

めあて	今日の学習のめあてを明確にする。
前時の復習	本時の学習の手がかりをつかむ。
本時	めあてに沿って授業を展開する。
言語化	自分の言葉で説明することで学習のふり返りをする。

P-01

算数の授業

等しい比
 (例) $4:6$ と $2:3$
 見つける方法
 大切な比の値を求める
 $4:6 = \frac{4}{6} = \frac{2}{3}$ } どちらの比の値
 $2:3 = \frac{2}{3}$ } も $\frac{2}{3}$ = 等しい比
 といえる

P-01

**③見て分かりやすい
(視覚的な支援)**

P-01

ここを書く！

鉛筆で書く
 赤鉛筆で書く

P-01

国語の授業

P-01

子どもたちが安心できる授業

- ①授業の準備ができている
- ②1時間の流れが分かる
- ③見て分かりやすい

P-01

安心できる授業で子どもも笑顔に！

今日は、〇〇を勉強したよ。
 分かった！
 赤鉛筆ありがとう。次は持って来よう。
 楽しい！
 できるようになった！

P-01

対象:小学校 初任者 通常学級担任

子どもたちが 安心して学べる教室

こんなことありませんか？

- ①「早く片付けて！」
- ②「今言ったばかりでしょ！」
- ③「そこに置くっていったでしょ！」
- ④「聞いてる？」
- ⑤「いつもの用意をきなさい！」



あったかい教室にするために

- ①どんなことに困っているのだろうか。
- ②教室環境で何が変わるのか。
- ③こんなことやっています。
- ④まとめ



1、困ることはどんなこと

- ①「早く片付けて！」
⇒どこから持ってきたっけ？
- ②「今言ったばかりでしょ！」
⇒今、何してるんだっけ？
- ③「そこに置くっていったでしょ！」
⇒どこに置けばいいの？
- ④「聞いてる？」
⇒あの絵が気になるなあ。
- ⑤「いつもの用意をきなさい！」
⇒何をだせばいいの？



2、教室環境を整えて、 いつもきれいに、見やすく

- ①気持ちよく過ごす。
- ②余計な刺激を減らす。
- ③見せたいものに集中できる。
- ④良いモデルになる。



3、こんなことをしています 片づける場所を示す



一日の
スケジュールを示す

きょうのよてい	
1	こくご
2	さんすう
3	たしりく 中
4	たしりく 外
きょうしやく	
5	がっかつ めあて

1. こくご
かんじのはなし
かんじ 守 正 (い)
2. たしりく
ごうたしりく
とじほろ
3. さんすう
たしりく
4. せいかつ
かざるまづくり (はねづくり)
かたかな カ. マ. フ
5. おんがく

きょうのよてい	
1	こくご
2	さんすう
3	たしりく 中
4	たしりく 外
5	きょうしやく
6	がっかつ めあて

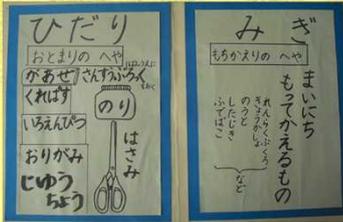


時間の目標を示す

置く場所を示す

12:25	出発!
12:40	「おたぎ封!」
13:00	(机を前に)
13:03	「ごろうさまは」

いつもきれいな状態にしておく



机の位置を整える

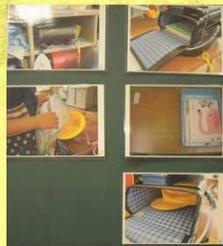
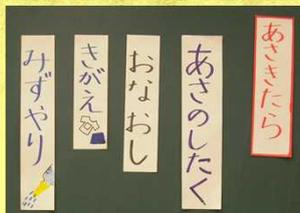


黒板のまわりはすっきりと



必要のない情報はみえないようにする

やる順番をしめす



おしえてかえるもの
うわぐつ
たいそうふく
エプロン
ファイル

4、まとめ



対象：小学校教員

授業づくりの基本

～みんなが集中して学べるように～



全体の流れ

☆静かな学習環境づくり
音の環境調整(教師の声・子どもの声・学習作業の音)
学習のルール(聞く態度・注目の合図)
学級集団づくり

☆一番大事なものは、わかりやすい授業！(授業づくり)
～わかりやすい授業は、私語がありません～

- ①時間の構造化
- ②情報伝達の工夫
- ③参加の促進
- ④内容の構造化

こんなことはありませんか？

静かにしなさい！

先生の指示がわかりにくい。

私語が増える。

物音が増える。

集中しにくくなる。

やる気がなくなる。

授業の内容がわからなくなる。

何をしたらいいのか、わからない。

どこをやっているのか、わからない。

手遊びが増える。

静かな学習環境(音の環境調整)

①教員の声

ゆっくり・短く・指示は一回にひとつ

声ではなく見てわかる形で

ワンアップ・ワンダウンの気持ちで

机間指導の声も小さい声で

②子どもの声

声の大きさを意識

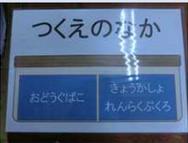




移動式にするといつでも活用できる！

③学習作業の音

整理整頓してスムーズに



机整理マーク

机・椅子の騒音防止





ゴムのクッションがついた椅子

学習のルール

①聞く態度

聞く姿勢

注目して聞く



先生の顔を見る

指されてる場所を見る

学習のルール

②注目の合図

何かを始める前 指示を聞くとき 集中しているとき

リズム 聞くカード 鈴の音 予告・サイン
 ハンドサイン

学級集団づくり

毎日、音のない時間を作ることも効果的

百ます計算 朝読書 視写 読み聞かせ

↓

静かな環境が心地よいと感じる子を育てること

一番大事なものは、授業！

～わかりやすい授業は、私語がありません～

①時間の構造化

1時間の見通しをもった学習の流れ

②情報伝達の工夫

視覚的援助
 具体的な指示

いつまで続くかなあ...

今日の学習
 1 あいさつ
 2 読むたいそう
 3 すぐく遊び
 4 ふりかえり

しっかり挨拶しましょう！

相手の目を見て元気な声で

③参加の促進

机間指導

HELPカード

ペア学習やグループ学習

終わった子への課題

むずかしい...

④内容の構造化

学習ワークシートの活用

スモールステップの課題

できた

やってみよう

次もできた

またやりたい

Let's try!!

みんなが集中して学べるように

対象：通常の学級教員

書くことが苦手な児童への 指導の実践例

こんなことはありませんか？

- ①姿勢がくずれる。姿勢が保てない。
- ②鉛筆を正しく持てない。
- ③筆順が違う。
- ④字形が整わない。
- ⑤手を動かすのが遅い。
- ⑥とにかく書くことをいやがる。

①姿勢保持のために

正しいサイズの机とイスは必須条件

それでも骨盤が前傾する(お尻が前にずれる)児童には、、、

姿勢を保てる座布団や背もたれのないイスを使う



ハートリーフ クッション
パシフィックサブライ(株)

箱馬型椅子

学習のための着席姿勢を覚える

寝型リラックス姿勢

「今から20秒かぞえる間、静かに寝ます。背中を下にして、おへそを天井にむけて寝てください。」



10秒ずつ時間を増やして1分間できるようになったら
→あぐら→正座→椅座位へとすすめていく。

1分間集中トレーニング (学陽書房 上嶋 恵 著) より

②鉛筆を正しく持てないために字形がくずれている児童には練習具を使う

長所・・・持つべき適切な位置がわかり正しい持ち方を学びやすい。



短所・・・つけはしませんが面倒。高価なものもある。

Qリングは間違えるたびに
消しゴムと持ちかえなければ
ならない。

もちかたくんは爪に印を
つける必要がある。

正しい持ち方を助ける鉛筆もある



長所

- ・つけはししの必要がなく
手軽に使える

短所

- ・間違った持ち方をしても使える
ので本人の意識が必要
- ・持つ位置(高さ)が決まらない
- ・専用の削り機が必要なものもある

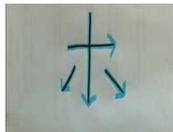


③筆順よりも書く方向の指導を

正しい筆順は難しいので、漢字の苦手な児童には負担が大きい。字形がくずれていたり、あまりにでためすぎる筆順の場合には、書く方向のみ意識させる。

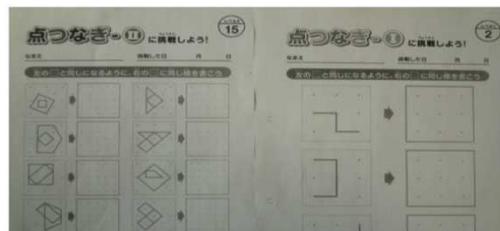
カタカナ ホ の法則

横線は左から右
縦棒は上から下
斜め線も上から下方に向かって書く



青は十を書いて二を書いて月 だが
三を書いてから縦棒を引いてもOKに

書く方向を定着するための練習例



視覚発達支援ドリルシリーズの「点つなぎーⅡ」を使って、書く方向の定着を図る練習をしている。
点をつないで、左と同じ図形を書き写す練習。「カタカナ ホの法則」にしたがって、線を引く方向に気をつけて書かせる。

④丁寧に書いているつもりでも 書けていない児童には

運筆コントロールの練習



道の真ん中を通るように
&まわりの線にぶつからないように迷路を進む。

ゆっくり線を引けないためにまわりの線にぶつかる児童には、2本の平行な線を引き、よーいドンで「鉛筆の動きをとめずにゆっくり線をなぞり、遅い方が勝ち」という、ゆっくり競争を教師と行う。

⑤素早く鉛筆を動かす練習



きくきくドリル (文英堂)

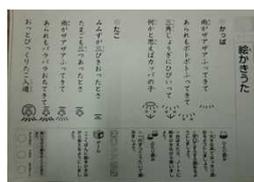
CDの声に合わせて
一マスずつ進む。



CDの「上」「下」「右」「左」
の声に合わせて
道一つずつ進む。

* CDは待ってくれないので
自分がCDの速さに合わせなければならぬ。

⑥楽しく鉛筆を使う練習



(話す・聞くスキル2 正進社)

絵かき歌

ノートでたくさん練習してから黒板に本番を書く。
黒板に書くために練習を厭わない。

紹介した教材・用具

- ・1分間集中トレーニング 上嶋 恵 学陽書房
- ・視覚発達支援ドリルシリーズ 点つなぎーⅠ・Ⅱ レベル1~4
- ・KUMON めいろあそび 1集 2集
- ・きくきくドリル BOOK①~③ 村上裕成 著 文英堂
- ・話す・聞くスキル2 正進社
- ・ハートリーフクッション パシフィックサプライ株式会社
- ・右手用 もちかたくん 株式会社 トンボ鉛筆
- ・Qリング ゴムQ
- ・くものこどもえんぴつ (こどもえんぴつげずり)
- ・一年生かきかたえんぴつ 株式会社 トンボ鉛筆

中学校教員対象

理科の授業における工夫

～授業を整理してわかりやすく～
中学理科編

小学生のときは、理科が好きだったのに・・・

生徒はどこでつまずいて、どのような支援が必要か？

生徒がつまづくポイント

- ①新しい概念
次から次へと視点を切り換えなくてはならない。
- ②抽象的な説明
目に見えない事物について考えるのが苦手。
- ③計算問題
もともと計算は苦手。

「光」で学習する要点と重要用語

光はまっすぐ進む
光は鏡に当たると反射する
光は空気から水へ進むとき、屈折する
光は凸レンズを通すと逆転する

わかる！授業をめざして・・・

授業の工夫
単元ごとに授業を整理して授業を組み立てる

手順① 授業の設計図をたてる

例えば・・・

1学年「光」
①光の進み方
②光の反射
入射光 反射光 入射角 反射角 反射の法則
③光の屈折
屈折角 全反射
④凸レンズのはたらき
焦点 焦点距離 実像 虚像

1光の3つの性質
①光は直進する
②光は〇〇に当たると反射する
③光は〇〇から〇〇に入る時、屈折する

2凸レンズのはたらき
①実像(じつぞう)
②虚像(きょぞう)

手順②
キーワードをイラストでイメージ化させる

①光は直進する

②光は〇〇に当たると反射する

③光は〇〇から〇〇に入るとき、屈折する

手順③
キーワードは毎回授業の始めに確認する

みなさん、光の3つの性質、覚えていますか？

毎回、黒板の左端に単元のキーワードを貼る。
学習前に、キーワードの確認をおこなう。

わかる！授業をめざして…

①新しい概念 → 授業の工夫

②抽象的な思考 → 単元ごとに授業を整理して授業を組み立てる

③計算問題
もともと計算は苦手 → ・式問題の数字は単純なもので説明
・数式の意味をイラストでイメージをもたせる

パーセントって？

虫食いリンゴは何パーセント？

$$\frac{\text{求めたいものの量}}{\text{全体の量}} \times 100 = \frac{2}{8 + 2} \times 100$$

問題をやってみよう

問題 80gの溶媒(水)に20gの食塩を混ぜました。この水溶液の濃度は何パーセントになりますか？

食塩 20g

溶媒(水) 80g

$$\frac{\text{求めたいものの量}}{\text{全体の量}} \times 100$$

$$\frac{20}{80 + 20} \times 100$$

まとめ

わかりやすい
混乱が少ない

安心して授業を受けることができる → 意欲向上

対象:初めて聴覚障がい児を指導される先生に向けて

「聴覚障がい児」の 理解と授業の工夫

1. 「きこえる」ということ
2. どんなふうにかきこえるの？
3. 聴覚障がい児の授業をするとき

*ききとりやすい授業についての話し方①～⑤

*絵カード・写真カード・文字カード・提示物の工夫

*手話・指文字・キュードスピーチなどの使用

*授業開始・終了合図のパライト

4. 聴覚障がい児の授業の様子

「きこえる」ということ

身の回りのいろいろな音や声がさまざまな事を伝えてくれる



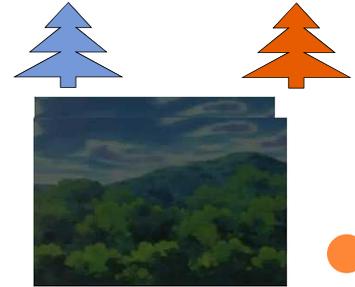
聞く事は、話す事と関係があり、ことばをおぼえるために大切



いったいどんなふうにかきこえるの？

補聴器で音を大きくしてもうまくきこえません。

何の番組でしょう？……



ききとりやすい授業について ①

小さな声で話す



大きな声で話す



どちらがわかりやすいかな。

ききとりやすい授業について ②

早く話す



ゆっくりはっきり話す



どちらがわかりやすいかな。

ききとりやすい授業について ③

口をかくして話す

顔と口を見せて話す

どちらがわかりやすいかな。

ききとりやすい授業について ④

書写や作業をしている時に話す

書写や作業がおわってから話す

どちらがわかりやすいかな。

ききとりやすい授業について ⑤

お話だけする

視覚的教材を提示しながら話す

どちらがわかりやすいかな。

さんすう(1ねんせい)のたしざん・ひきざんのしかた

3 + 2 = 5

5 - 2 = 3

指文字表

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
い	り	や	み	ひ	に	ち	し	き	い	
う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	
え	れ	つ	め	へ	ね	て	せ	け	え	
お	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

各都道府県・政令指定都市名の手話表現

岩手	秋田	宮城	山形	福島	栃木	茨城
埼玉	東京	神奈川県	山梨	新潟	長野	岐阜
富山	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪
奈良	和歌山	徳島	香川	高松	愛媛	福岡

パトライト



赤 非常時
緑 授業開始
黄 授業終了

道徳学習のようす (ビデオ)

げんきにもだて ミニトマト

大阪府立生野聴覚支援学校
小学部2年生

授業のポイント

- * 話す時は、児童の顔を見て大きな声で、はっきりと、ききとりやすいように話すとともに、視覚的な支援もおこなう。
- * 子ども同士の相互会話においても、話し手をしっかり見させ話し手は友だちにきちんと伝わるように話させる。
- * 児童の意見は、誰がどんな事を発表したか、板書する。
- * 絵・写真カードや文字カードなど視覚的教材を活用する。
- * 登場人物の意見や気持ちなどは、見て分かりやすいように、ふきだし等を作る。

聴導犬



対象: 教員

ワーキングメモリとユニバーサルデザイン

はじめに

- ワーキングメモリって知ってますか？
WISC-IVでは4つの群指数の1つにあげられています。
- 1. ワーキングメモリって何でしょう？
- 2. 子どもの学習とどんなかわりがあるのでしょうか？
- 3. ワーキングメモリを学習に生かすにはどうすればいいのでしょうか？

1. ワーキングメモリとは？①

- ワーキングメモリ
「短時間に頭の中で情報を保持し、操作する能力」「情報を頭に保持しておくときに用いられ、脳の作業場もしくはメモ帳のような働き」(S.E.ギャザコール)
- 例) 暗算、読解
- 短期記憶とは違い数秒程度しか保持できない(短期記憶は昨日、今日の最近の過去程度)

ワーキングメモリとは？②

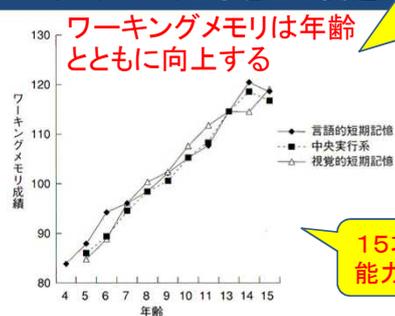


ワーキングメモリとは？③

- ワーキングメモリに保持できる情報のユニットは限界がある。
成人で6~7ユニット(チャンク)
(意味のないパターンの情報ではもっと少ない)
JDIWMXLPO **難しい** BBC-IBM-USA **易しい**
- ◎ ワーキングメモリと意味についての記憶を結びつけると記憶成績は向上する。
- ◎ リハーサル(声に出していう)は記憶を促す。

ワーキングメモリと学習④

① ワーキングメモリと学習との関連

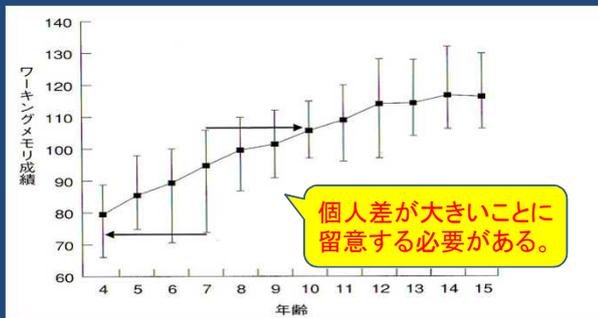


ワーキングメモリを構成する3つの要素が年齢とともに向上している。

15才頃に成人の能力に到達する。

2. ワーキングメモリと学習①

- 個人差が大きいワーキングメモリ



ワーキングメモリと学習②

- ②ワーキングメモリが低いために起こる学習への影響

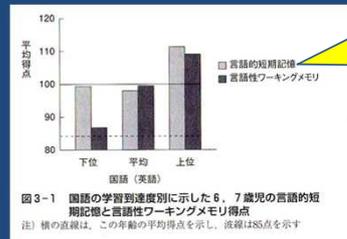


図3-1 国語の学習到達度別に示した6, 7歳児の言語的短期記憶と言語性ワーキングメモリ得点
注) 横の直線は、この年齢の平均得点を示し、波線は85点を示す

ワーキングメモリと学習③

- ②ワーキングメモリが低いために起こる学習への影響

言語性ワーキングメモリが低いと算数の成績も低い。

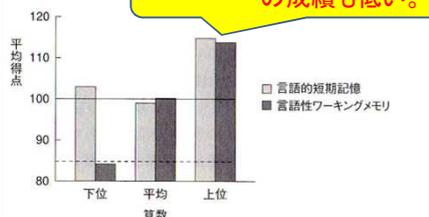


図3-2 算数の学習到達度別に示した6, 7歳児の言語的短期記憶と言語性ワーキングメモリ得点
注) 横の直線は、この年齢の平均得点を示し、波線は85点を示す

ワーキングメモリと学習④

- ワーキングメモリが低い子どもの特徴 その1
- ◎学業成績がすぐれない
- ◎グループでの話し合いに十分加われず控えめでぼんやりしている。
- ◎注意の持続が短い。
- ◎すぐに気が散る。(注意・集中)
- ◎作業を適切に把握できない。
- ◎複雑な問題を解くのに工夫が欠ける。



ワーキングメモリと学習⑤

- ワーキングメモリが低い子どもの特徴 その2

- ◎自尊感情が低く、傷つきやすい。
- ◎文章を理解することに困難がある。
- ◎計算など、数の操作が苦手。
- ◎まちがいをチェックできず、不注意なミスをする。
- ◎課題を最後まで遂行するのに必要な情報を忘れてしまう。(教師の指示通りにできない)



3. ワーキングメモリを意識したユニバーサルデザインと支援①

- 介入原則

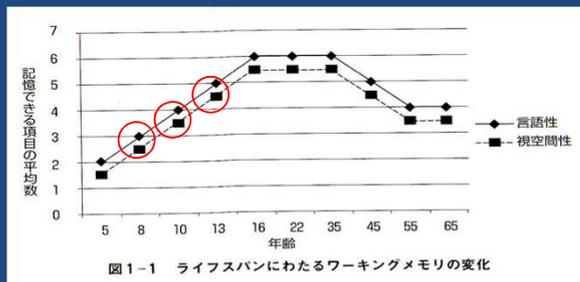
- ①ワーキングメモリエラーに気づく
- ②子どもをモニターする(子どもに聞く)
- ③ワーキングメモリの負荷を評価する
- ④必要ならワーキングメモリの負荷を減ずる
- ⑤重要な情報を繰り返す
- ⑥記憶補助ツールの使用を促す
- ⑦子ども自身の方略を発達させる

ワーキングメモリを意識したユニバーサルデザインと支援②

• 「③ワーキングメモリの負荷を評価する」について

- 情報が長すぎないか
- なじみがなく、意味的なつながりのない内容になっていないか
- ※長期記憶と関連付けると負荷が減る。

ワーキングメモリを意識したユニバーサルデザインと支援③



言語性WM—指示や言葉の理解、文章理解 に関与
視空間性WM—出来事の系列、パターン、イメージ、数学 に関与

ワーキングメモリを意識したユニバーサルデザインと支援④

• 「④必要なワーキングメモリの負荷を減らす」について

- 情報の量を減らす。
- 言語的な指示に動作や視覚的な情報もあわせて提示する。
- 情報に意味を持たせ、慣れ親しませる。
- 予習する。
- 指示の仕方や作業を単純化する。(手順は1つ1つ)

ワーキングメモリを意識したユニバーサルデザインと支援⑤

- 「⑥記憶補助ツールの使用を促す」について
 - カードなどで提示する。板書する。(九九表、五十音表、まとめ、重要事項・・・)
 - メモを活用する。
 - ブロック、タイル、そろばん、ビーズ、計算機、録音機、コンピューター等ICT、など

ワーキングメモリを意識したユニバーサルデザインと支援⑥

- ⑦子ども自身の方略を発達させる
 - 図式、表、フローチャートを使う。
 - リハーサルする。(言語性WMが強い場合)
 - メモを使う。
 - 長期記憶を活用する。※意味的なまとまり(チャンク)として情報を覚える。
 - 進行状況を把握できるようにする工夫。
 - 支援を求める。



参考・引用文献

- 「ワーキングメモリと学習指導
～教師のための実践ガイド～」(北大路書房)
- 「ワーキングメモリと発達障害
～教師のための実践ガイド2～」(北大路書房)

S.E.ギャザコール、T.P.アロウェイ 著
湯澤正通、湯澤美紀 訳